



# 欧州統合に関する学際的研究

国際戦略センター

橋田 力

教授

HASHIDA Tsutomu

修士(政治学)(ロンドン大学)

■研究キーワード

欧州連合(EU) / イタリア / グローバル人材育成 / 大学の国際化

■主な所属学会

日本EU学会 / イタリア学会 / グローバル人材育成教育学会 / 異文化教育研究所(JII)

■研究者総覧

<https://koto10.nara-wu.ac.jp/profile/ja.dd7e6ab4156774f8520e17560c007669.html>



研究者総覧

## 研究概要

英国大学院留学後、ブリュッセルに渡り、欧州委員会(産業総局)でのインターンシップを経て、総合商社現地法人や日本政府代表部において約10年、欧州連合(EU)の「中興の祖」とも呼ばれたドロール委員長からバローゾ委員長までの間、単一通貨ユーロの導入や中東欧へのEU拡大といった進展だけでなく、欧州憲法条約案の否決からリスボン条約の発効までの紆余曲折も目前にしつつ、政治・経済・文化など学際的な観点から欧州統合に関する研究を進めました。最近では、欧州委員会の卓越した政策提言に着目し、大胆かつ精緻な未来像を提示した『シナリオ欧州2010』と『グローバル欧州2050』を取り上げ、政策立案に係わる組織的な賢智の集積と構想力の形成について考察しました(吉井昌彦編著『EUの回復力』第7章 欧州委員会のシンクタンク機能 2021年 勁草書房)。

## 今後の展望・展開

帰国後、大学の国際化にも携わるようになり、欧州連合(EU)の高等教育にも対象を広げて調査を続け、欧州の協定校との連携などに役立てるなど日欧関係の強化に及ばずながら貢献しています。外務省の対日理解促進交流プログラム「MIRAI」において、欧州と中央アジア・コーカサス地域の学生や若手実務者とのオンライン交流を毎年、進めています。2024年10月には駐日欧州連合(EU)代表部による「模擬EU」を第1回の東京大学(駒場キャンパス)に続き、奈良女子大学において開催し、加盟国閣僚理事会を舞台として議題を気候変動に設定、学生が各国の環境大臣と欧州委員会の担当委員の役割を演じてEUの政策決定をシミュレーションしました。また、奈良教育大学との連携開設科目として「ヨーロッパ学入門」と「国際機構論入門」を担当しており、学生が欧州と国際機関について理解を深める機会を提供しています。



欧州委員会本部にて(ブリュッセル在住時の歴代委員長の写真の前で)



経済協力開発機構本部にて(ヨーロッパ研修に参加した学生たちと)